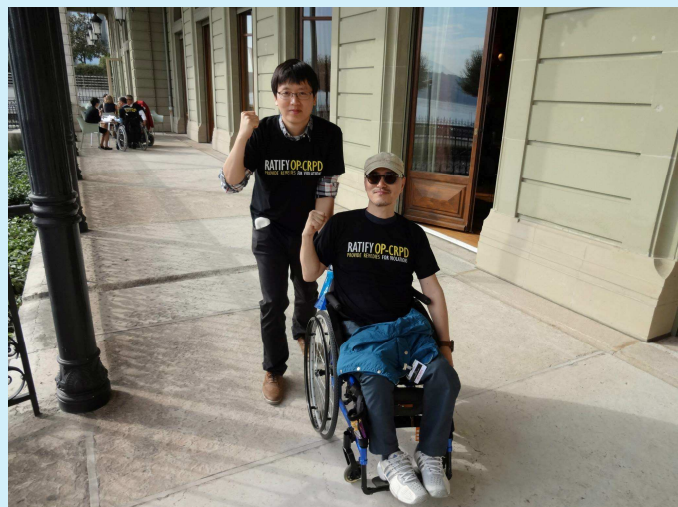


---

# 韓国における精神障害分野の最新動向

金 康源（キム カンウォン） 障害友権益問題研究所

# 自己紹介

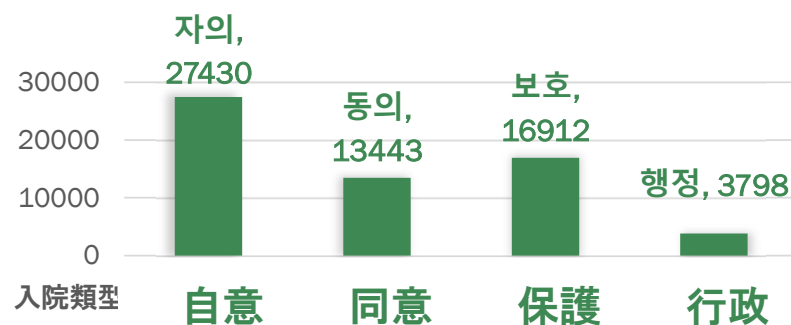


金 康源 (キムカンウォン), Kim, Kangwon

障害者権利条約問題研究所 精神健康権利擁護センター長  
精神障害者社会統合研究センター 副センター長  
韓国精神障害者権利連帯 理事  
UNCRPD NGO連帯報告書総括副委員長(前)  
市民社会団体連帯会議 運営委員(前)

## 精神障分分野の最新動向(2022)

- 登録障害者2,633,026名のうち、精神障害者は103,525名(3.9%) 精神疾患の生涯有望率25.4%, 1年間、精神疾患で診療を受けた実人員は2,124,652名(2020年), 入院患者数 62,702名
- 2016年、旧精神保健法の憲法不合致決定で「精神健康福祉法」に全面改正され、期待が高まったが、事実上変わったことはほとんどない
- 強制入院と強制治療、劣悪な治療環境、低い雇用率と所得、社会的偏見など精神障害者の現実是非常に悲観的



# 精神障碍分野の最新動向(2022)

## ■ 障害者福祉法第15条の改正

### 障害者福祉法 15条

第2条に伴う障害者のなかで 「精神健康増進及び精神疾患患者福祉サービス支援に関する法律」と「国家有功者等の礼遇及び支援に関する法律」など 大統領令に定めた他の法律を適用される障害者に対しては、大統領令に定めたものに基づき、本法の適用を制限することができる



---

## 精神障​碍分野の最新動向(2022)

- 障​碍者福祉法第15条改正は、精神健康福祉システムの根本的な変化のきっかけになることが期待される
- 障​碍友権益問題研究所、「立法推進委員会」を構成し、精神健康福祉法全部改正推進
- 保健福祉部「入院制度改善協議体」と「自立支援協議体」稼働
- 「保護入院」及び「同意入院」の廃止と権益擁護、ピアサポート、危機支援など多様な福祉サービス拡充期待

## 国連障害者権利条約2次・3次併合大韓民国政府審議最終見解

認知された自他害危険と損傷に基づき **非自意的に自由を剥奪**することを許容する

精神健康福祉法を含むすべての関連法律 **条項を廃止**

損傷に基づき、障害者を強制的に施設化することを明示的に禁止する **法律を導入し**、

心理社会的障害者の自由及び安全に関する権利を他の人々と **同等に回復**

心理社会的障害者及び/又は知的障害者が任意的で強制的な治療、とくに**隔離で**  
帰結される治療に従属されないようにこれを保障するモニタリング体系を  
備えること

## 国連障害者権利条約2次・3次併合大韓民国政府審議最終見解

“委員会は当事国が **向精神薬の使用及び身体的抑圧を直ちに中止**すべきことと、次の事項を強力に勧告する。”

“司法, 教育, 健康, 心理社会及び老人療養施設を含む **全ての環境で尋問及び残酷、非人間的、屈辱的な処遇または処罰から全ての障害者を保護**するために必要な措置を採択することを勧告する。さらに障害者団体が効果的にこのプロセスに協議・参加すること”

“今なお、施設内にいる全ての障害者が **異議申し立て手続きにアプローチ**できるように保障し、障害者に対する尋問及び残酷で非人間的、または屈辱的な処遇または処罰に該当する行為を行った **加害者を調査し、制裁し、その行為に比例する処罰**を課すこと”

# 課題

- 政権交代及び保健福祉部担当者変更、国政監査、梨泰院惨事、北朝鮮問題など様々な案件により今年、期待されていた変化は足踏み状態
- 入院制度改善に対し、実践現場の懸念が高まっている状況(予算と人員不足問題など)、組織的な抵抗の兆しもみえる
- ただし、障害者雇用分野、障害者福祉館など障害者福祉サービス体系に精神障害者を含めようと工夫している
- 立法運動を通して精神健康福祉法の改正案を発議・通過させるのがカギ！



---

金 康源 ( 김칸웬 ), Kim, Kangwon  
[ktback@hanmail.net](mailto:ktback@hanmail.net)  
+82-10-2620-3112  
<https://www.facebook.com/kangwon.kim.16>

# ご清聴ありがとうございました。

障碍者の完全なる社会参加と平等実現

